

西都市中学校の適正規模についてのアンケート調査票集計(校區別)

校區別	妻中	穂北中	都於郡中	三納中	三財中	銀鏡中	校区無記入	合計
回答者数(人)	908	202	143	91	144	4	19	1511
対象者数(人)	2016	410	296	190	309	13	-	3234
回答率(%)	45.0	49.3	48.3	47.9	46.6	30.8	-	46.7

質問1 アンケートにお答えいただいている方についてお答えください。

(1) お答えいただいている方について、あてはまるものに○を付けてください。

(ア～ウの内、複数にあてはまる場合はあてはまるもの全てに○を付けてください。)

※「%」は校區別の回答者数に対する割合

校區別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
ア. 中学生の保護者	300	33.0	51	25.2	58	40.6	32	35.2	52	36.1	1	25.0	0	0.0	494	32.7
イ. 小学生の保護者	486	53.5	115	56.9	75	52.4	43	47.3	62	43.1	2	50.0	12	63.2	795	52.6
ウ. 未就学児の保護者	156	17.2	42	20.8	21	14.7	7	7.7	31	21.5	2	50.0	2	10.5	261	17.3
エ. その他	152	16.7	36	17.8	23	16.1	23	25.3	30	20.8	0	0.0	5	26.3	269	17.8

(2) お答えいただいている方の年齢について、あてはまるものに○を付けてください。

※「%」は校區別の回答者数に対する割合

校區別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
ア. 10代	2	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.3	3	0.2
イ. 20代	36	4.0	2	1.0	3	2.1	2	2.2	3	2.1	1	25.0	1	5.3	48	3.2
ウ. 30代	302	33.3	65	32.2	47	32.9	21	23.1	43	29.9	1	25.0	6	31.6	485	32.1
エ. 40代	390	43.0	87	43.1	68	47.6	43	47.3	57	39.6	2	50.0	3	15.8	650	43.0
オ. 50代	73	8.0	17	8.4	8	5.6	9	9.9	18	12.5	0	0.0	2	10.5	127	8.4
カ. 60代	49	5.4	10	5.0	6	4.2	12	13.2	14	9.7	0	0.0	2	10.5	93	6.2
キ. 70代	42	4.6	11	5.4	9	6.3	3	3.3	7	4.9	0	0.0	1	5.3	73	4.8
ク. 80代以上	42	4.6	2	1.0	2	1.4	1	1.1	0	0.0	0	0.0	1	5.3	48	3.2

質問2 中学校の現状について、お考えをお答えください。

(1) 中学校における適正な1学年当たりの学級数について、どの程度がよいと思われますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

(法令では1学年当たり4～6学級が適正規模とされています。)

※「%」は校区別の回答者数に対する割合

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
ア. 1学級	1	0.1	16	7.9	23	16.1	19	20.9	18	12.5	1	25.0	2	10.5	80	5.3
イ. 2学級～3学級	226	24.9	134	66.3	94	65.7	54	59.3	100	69.4	3	75.0	9	47.4	620	41.0
ウ. 4学級～6学級	651	71.7	40	19.8	26	18.2	18	19.8	18	12.5	0	0.0	4	21.1	757	50.1
エ. 7学級以上	9	1.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	3	2.1	0	0.0	0	0.0	13	0.9

(2) 住んでおられる地区の中学校の規模について、どのようにと思われますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

※「%」は校区別の回答者数に対する割合

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
ア. 大きい	54	5.9	1	0.5	1	0.7	1	1.1	4	2.8	0	0.0	0	0.0	61	4.0
イ. 適正である	650	71.6	47	23.3	28	19.6	10	11.0	32	22.2	1	25.0	7	36.8	775	51.3
ウ. 小さい	55	6.1	129	63.9	104	72.7	76	83.5	93	64.6	3	75.0	2	10.5	462	30.6
エ. わからない	137	15.1	17	8.4	9	6.3	4	4.4	12	8.3	0	0.0	6	31.6	185	12.2

(3) 中学校における適正な1学級当たりの生徒数について、どの程度がよいと思われますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

※「%」は校区別の回答者数に対する割合

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
ア. 20人未満	31	3.4	17	8.4	12	8.4	17	18.7	9	6.3	0	0.0	1	5.3	87	5.8
イ. 20～30人	386	42.5	113	55.9	84	58.7	51	56.0	73	50.7	2	50.0	10	52.6	719	47.6
ウ. 30～35人	401	44.2	60	29.7	37	25.9	20	22.0	48	33.3	2	50.0	5	26.3	573	37.9
エ. 35～40人	74	8.1	4	2.0	5	3.5	2	2.2	6	4.2	0	0.0	0	0.0	91	6.0
オ. 40人超	0	0.0	0	0.0	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1

(4) 中学生にとって良好な教育環境を確保するには、どのようなことが必要だと思われますか。次の項目から特に必要と思われるもの上位3つ以内に○を付けてください。

※「%」は校区別の回答者数に対する割合

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
ア. きめ細やかな指導体制	405	44.6	79	39.1	56	39.2	41	45.1	54	37.5	1	25.0	11	57.9	647	42.8
イ. 学校行事等での活動の場の確保	79	8.7	8	4.0	15	10.5	7	7.7	17	11.8	0	0.0	3	15.8	129	8.5
ウ. 先生と生徒、生徒同士の信頼関係	615	67.7	116	57.4	77	53.8	62	68.1	83	57.6	3	75.0	12	63.2	968	64.1
エ. 異学年間の交流	16	1.8	7	3.5	2	1.4	2	2.2	1	0.7	0	0.0	1	5.3	29	1.9
オ. 学習、部活等における生徒間の切磋琢磨	280	30.8	63	31.2	57	39.9	32	35.2	47	32.6	0	0.0	2	10.5	481	31.8
カ. クラス替えが可能となる生徒数	126	13.9	43	21.3	28	19.6	15	16.5	24	16.7	2	50.0	0	0.0	238	15.8
キ. 多様な考え方に触れ社会性、協調性を高められる機会	346	38.1	53	26.2	44	30.8	30	33.0	53	36.8	1	25.0	3	15.8	530	35.1
ク. バランスの取れた教職員の配置	214	23.6	46	22.8	27	18.9	15	16.5	22	15.3	1	25.0	3	15.8	328	21.7
ケ. 各専門教科の免許を有する教職員の確保	158	17.4	30	14.9	22	15.4	19	20.9	22	15.3	0	0.0	3	15.8	254	16.8
コ. 部活動などの選択肢	156	17.2	74	36.6	45	31.5	34	37.4	53	36.8	2	50.0	1	5.3	365	24.2
サ. 学校と地域社会との連携	83	9.1	18	8.9	16	11.2	6	6.6	18	12.5	1	25.0	3	15.8	145	9.6

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
シ. その他	11	1.2	0	0.0	1	0.7	1	1.1	2	1.4	0	0.0	0	0.0	15	1.0

質問3 西都人会議教育文化分科会からの提言についてお答えください。

(1) 提言にある「市内中学校を1校に統合」について、どのように思われますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

※「%」は校区別の回答者数に対する割合

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
ア. 統合すべき	161	17.7	52	25.7	31	21.7	23	25.3	24	16.7	1	25.0	3	15.8	295	19.5
イ. 統合すべきでない	362	39.9	63	31.2	52	36.4	30	33.0	53	36.8	3	75.0	7	36.8	570	37.7
ウ. わからない	322	35.5	61	30.2	48	33.6	28	30.8	46	31.9	0	0.0	7	36.8	512	33.9
エ. その他	52	5.7	18	8.9	9	6.3	8	8.8	18	12.5	0	0.0	1	5.3	106	7.0

(2) (1)において、アに○をされた方のみお答えください。統合すべきと思われた理由について、あてはまるもの上位3つ以内に○をつけてください。

※「%」は校区別において、(1)の問いにアと回答した人に対する割合

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
ア. 多様な考え方に触れ、社会性、協調性を高める機会が増える	94	58.4	19	36.5	21	67.7	14	60.9	13	54.2	1	100.0	2	66.7	164	55.6
イ. 学級間、生徒間の相互啓発、切磋琢磨が期待できる	75	46.6	24	46.2	18	58.1	9	39.1	13	54.2	0	0.0	2	66.7	141	47.8
ウ. グループ学習、習熟度学習など、多様な学習指導形態が取りやすくなる	41	25.5	15	28.8	5	16.1	4	17.4	5	20.8	0	0.0	0	0.0	70	23.7

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
エ. 経験、教科、特性などを考慮したバランスの取れた教職員の配置が行いやすくなる	43	26.7	18	34.6	8	25.8	2	8.7	3	12.5	0	0.0	0	0.0	74	25.1
オ. 全教科において専門の免許を持つ教職員の配置が可能となる	48	29.8	17	32.7	7	22.6	9	39.1	4	16.7	0	0.0	1	33.3	86	29.2
カ. 教職員間における教科専門の学習指導等の相談、研究、協力等の機会が増える	17	10.6	4	7.7	1	3.2	2	8.7	2	8.3	0	0.0	0	0.0	26	8.8
キ. 学校業務の個人的偏りや免許外の教科指導がなくなり、教職員が専門教科の指導に集中しやすくなる	26	16.1	6	11.5	2	6.5	4	17.4	5	20.8	0	0.0	1	33.3	44	14.9
ク. PTA活動などにおいて、保護者一人当たりの負担減少が期待できる	18	11.2	6	11.5	7	22.6	3	13.0	3	12.5	1	100.0	2	66.7	40	13.6
ケ. 多くの部活動等の設置が可能となり、生徒の選択肢が増える	84	52.2	36	69.2	17	54.8	13	56.5	21	87.5	1	100.0	1	33.3	173	58.6
コ. その他	4	2.5	2	3.8	0	0.0	1	4.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	2.4

(3) (1)において、イに○をされた方のみお答えください。統合すべきでないと思われた理由について、あてはまるもの上位3つ以内に○をつけてください。

※「%」は校区別において、(1)の問いにイと回答した人に対する割合

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
ア. 生徒一人ひとりに目が届きにくくなる	273	75.4	46	73.0	42	80.8	28	93.3	37	69.8	1	33.3	7	100.0	434	76.1

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
イ. 学校行事などにおいて、生徒一人ひとりの活動の場が少なくなる	97	26.8	14	22.2	18	34.6	4	13.3	12	22.6	1	33.3	1	14.3	147	25.8
ウ. 先生と生徒、生徒同士の人間関係が深まりにくくなる	159	43.9	32	50.8	25	48.1	19	63.3	25	47.2	0	0.0	4	57.1	264	46.3
エ. 学年をまたいだ交流の機会が少なくなる	16	4.4	2	3.2	6	11.5	5	16.7	11	20.8	1	33.3	3	42.9	44	7.7
オ. 教職員全体の意思疎通が図りにくくなる	74	20.4	11	17.5	20	38.5	8	26.7	5	9.4	0	0.0	0	0.0	118	20.7
カ. 施設等の利用時間の調整が難しくなる	60	16.6	5	7.9	3	5.8	4	13.3	5	9.4	0	0.0	1	14.3	78	13.7
キ. 保護者、地域社会と学校との連携が図りにくくなる	136	37.6	24	38.1	24	46.2	16	53.3	35	66.0	2	66.7	4	57.1	241	42.3
ク. その他	64	17.7	13	20.6	5	9.6	2	6.7	11	20.8	1	33.3	0	0.0	96	16.8

(4) 中学校の統合を協議する際には、どのようなことに配慮を必要とすると思われますか。特に配慮が必要と思われるもの上位3つ以内に○を付けてください。

※「%」は校区別の回答者数に対する割合

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
ア. 学校施設の整備	220	24.2	26	12.9	26	18.2	7	7.7	18	12.5	0	0.0	4	21.1	301	19.9
イ. 学校の位置	269	29.6	59	29.2	54	37.8	26	28.6	48	33.3	0	0.0	3	15.8	459	30.4
ウ. 1学級当たりの生徒数	207	22.8	29	14.4	18	12.6	14	15.4	12	8.3	2	50.0	4	21.1	286	18.9

校区別	妻中		穂北中		都於郡中		三納中		三財中		銀鏡中		校区無記入		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
エ. 学力向上に向けた学習指導体制	298	32.8	68	33.7	39	27.3	24	26.4	29	20.1	3	75.0	4	21.1	465	30.8
オ. 通学手段の確保	477	52.5	117	57.9	90	62.9	59	64.8	97	67.4	1	25.0	9	47.4	850	56.3
カ. 通学などに対する保護者の経済的負担の軽減	258	28.4	60	29.7	48	33.6	22	24.2	42	29.2	2	50.0	4	21.1	436	28.9
キ. 生徒間のいじめや問題行動への対応	347	38.2	100	49.5	69	48.3	52	57.1	60	41.7	1	25.0	8	42.1	637	42.2
ク. 環境の変化に伴う生徒の精神的負担の軽減	221	24.3	52	25.7	28	19.6	32	35.2	36	25.0	0	0.0	2	10.5	371	24.6
ケ. 地域社会とのつながり	70	7.7	12	5.9	14	9.8	9	9.9	23	16.0	1	25.0	3	15.8	132	8.7
コ. 廃校後の跡地利用	78	8.6	16	7.9	16	11.2	7	7.7	13	9.0	2	50.0	0	0.0	132	8.7
サ. その他	7	0.8	3	1.5	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	0.7